

21日に成果発表会

外国人向け観光ガイド

外国人向け観光ガイドの育成プロジェクト（明治大学など主催）の成果発表会・履修証明書授与式が21日（土）午後2時30分～3時30

分、新宮市の新宮地域職業訓練センターで行われる。昨年5月から明治大学と新宮市などの熊野地域の自治体が連携し

陽市長があいさつした後、吉田副学長が証明書を授与。5人の修了生が成果発表をするほか、明治大学エクステンショングループとNPO法人Mi・Kumanoが修了者の受け入れ態勢について説明。崎草浩実行委員長（明治大学経営学部教授）が閉会のあいさつを述べる。

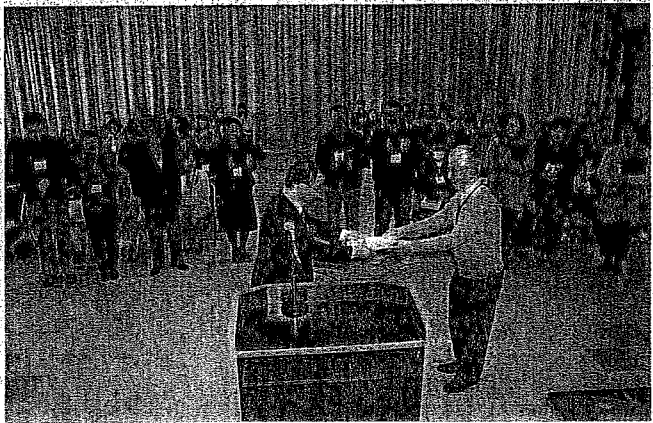
南紀州新聞
3/18(水)

問い合わせは明治大学エクステンショングループ（電話03・3296・4543）か新宮市商工観光課（電話0735・23・3333）3/内線387）まで。

20～80代の63人に証明書授与

外国人向け観光ガイド育成

熊野地域の観光活性化に貢献できる人材育成を目的にした「外国人向け観光ガイドの育成プロジェクト」の履修証明書授与式、成果発表会が21日、新宮地域職業訓練センターで開催され、基準を達成した20～80代の63人が



63人が証明書を受け取った
＝21日、新宮地域職業訓練センター

文化、英会話などを学んだ。履修証明書の発行基準は3つあり、全20回の講義のうち16回以上の出席者であり、パンフレット制作作業に参画した人、1月に行われた模擬体験も評価対象となった。

知識や経験を發揮し、生き生きとした笑顔が熊野の未来を切り開くものと期待します」と語った。修了者の代表5人が関係者に感謝を述べる

吉田悦志明治大学副学長は「閉校式がスタートラインです。フィールドで生かす段階に到達されました。全国に広がる市・人のネットワークづくりを今後も心掛けて、日本を元気にしていきたい」とあいさつした後、一人一人に証明書を手渡した。

最後に崎草浩実行委員長（明治大学経営学部教授）は取り組みの継続願望を述べ、「2、3年後に外国人を案内している姿を見たい」と修了者をたたえた。同大学はこれまで全国5つの自治体と連携し、昨年度は長野県飯田市、群馬県嬭恋村で実施。実施先では多くの観光客を呼び、定着へ向けてNPOを立ち上げるなど継続的な活動をしているといふ。

南紀州新聞 3/25(水)